



本郷新(嵐の中の母子像) 道立近代美術館

美術講演会

札幌、 アートの旅

ライター

谷口雅春氏

写真家

露口啓二氏

聞き手: 佐藤友哉 北海道立近代美術館学芸副館長

2010年2月27日 14:00~

北海道立近代美術館 講堂

主催 北海道立近代美術館
北海道新聞社
社団法人北海道美術館協会

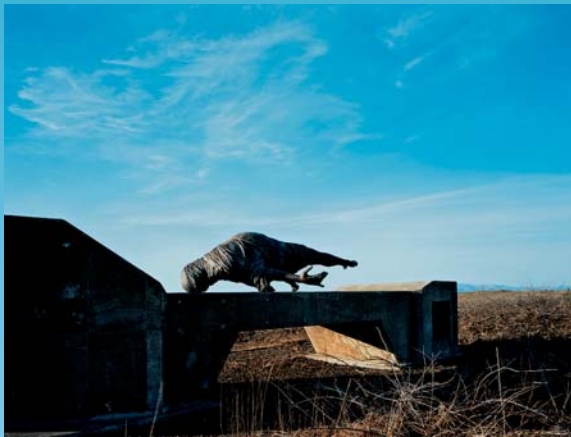
聴講
無料

北海道立近代美術館

〒060-0001 札幌市中央区北1条西17丁目 TEL 011-644-6882 FAX 011-644-6885 <http://www.aurora-net.or.jp/art/dokinbi/>



砂澤ビッキ(四つの風) 札幌芸術の森



本郷新(無毒の民) 石狩浜



石山緑地

美術講演会

札幌、 アートの旅

北海道には各地に野外彫刻、あるいは彫刻公園が多くあって、札幌近郊においても公共空間でいくつもの作品を観ることができます。私たちは、そうした作品の季節や時の流れのなかで変化してゆく表情を楽しむことができますが、それぞれの形態や設置意図はさまざまで、作者自身、あるいはその場や作品のテーマなどには札幌という街の風土ならではのゆかりがあって、それらをひもといてゆくこともまた、作品と札幌により親しむきっかけにもなるでしょう。

谷口雅春氏は『札幌アートウォーク』のなかで、いくつかの公共的な場所に設置された美術作品を挙げながら、札幌の歴史や風土を考察し、美術表現に潜む風土との関連を導きだしています。同著はまた札幌近郊の地形、景観を撮り、見つめ続けてきた露口啓二氏の多くの美しい写真によってそれらの視点をたどる構成になっており、露口氏の写真家としてのまなざしのむこうにもまた、札幌の歴史や風土が潜んでいるのです。

この講演会では、露口啓二氏の写真を鑑賞しつつおふたりのお話をうかがうことで、札幌の街を旅するように、この街の風土と美術の魅力を探ります。



講師

谷口雅春氏

1957年札幌生まれ。ライター。著書に『奇跡の音楽祭 札幌・PMFの夏』(北海道新聞社)、『千年の響き—正倉院楽器復元とアンサンブルオリジン』(小学館スクエア)、聞き書き作品に『大地の遺産—知床からのメッセージ』(午来昌書、晋文社)、『地球建築士—国際交流・協力の五十年』(松本洋書、柏繪舎)、編集に『駅とアートは求め合う—札幌・JRタワーの秘密』(幻冬舎ルネッサンス)がある。

露口啓二氏

1950年徳島県生まれ。写真家。「フレメン写真製作所」代表。1999年から沙流川などアイヌ語由来の地名を持つ地形や風景をテーマにした「地名」シリーズの撮影を始める。2002年にローマ、パリ、東京を巡回した「現代日本写真展／Black Out」展に出品。2009年には第25回東川賞特別賞を受賞、『ICANOF2009 Blinks of Blots and Blanks展』(八戸市美術館)に出品し、『露口啓二写真集／Blinks of Blots and Blanks／ICANOF2009』(ICANOF出版)を発表した。

※掲載写真はすべて露口啓二氏撮影



モエレ沼公園



札幌ドーム